



2022年4月28日

各 位

会 社 名 サワイグループホールディングス株式会社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 末 吉 一 彦
(コード番号:4887 東証プライム)
問 合 せ 先 コーポレートコミュニケーション部長 高良 恭志
(TEL:06-6105-5823)

米国セグメントに係る資産の減損損失、負ののれん発生益の計上、

通期業績予想の修正及び配当予想並びに役員報酬減額に関するお知らせ

サワイグループホールディングス株式会社(以下「当社」)は、本日開催の取締役会での決議を受け、下記のとおり、のれんをはじめとした米国セグメントに係る資産の減損損失及び負ののれん発生益を計上する見込みとなりました。これに伴い、2021年5月11日に公表した2022年3月期通期(2021年4月1日~2022年3月31日)の連結業績予想を以下のとおり修正しましたので、お知らせいたします。また、配当情報及び役員報酬の減額につきましても、あわせてお知らせいたします。

記

1. 減損損失の認識

当社グループの米国セグメントでは、2022年3月期に主要品目への競合他社の参入が続き、上市製品の拡充に取り組んだものの経営環境は厳しいものとなりました。そのため当社は、当社子会社であるUpsher-Smith Laboratories, LLCの持続的成長のあり方を検討し、この度事業再構築に着手することとしました。これに伴い米国セグメントの将来計画を見直した結果、のれんをはじめとした米国セグメントの資産について、回収可能価額が帳簿価額を下回ることが判明したため、約690億円の減損損失を認識する見込みとなりました。

2. 負ののれん発生益の認識

当社は小林化工株式会社の生産活動に係る資産を2022年3月31日に譲り受けましたが、本譲受により負ののれんが約87億円発生し、2022年3月期に一括収益認識する見込みとなりました。

3. 連結業績予想の修正について

(1)2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売上収益	(参考) コア営業利益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的1株当たり 親会社の所有者 に帰属する 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	196,400	31,300	26,400	26,100	19,500	445.30
今回修正予想 (B)	193,800	26,700	△35,900	△36,200	△28,300	△646.25
増減額 (B - A)	△2,600	△4,600	△62,300	△62,300	△47,800	
増減率(%)	△1.3%	△14.7%	—	—	—	

※ 上記業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

(2) 修正の理由

売上収益は、日本セグメントにおいて安定供給体制の維持に努め、前回発表の予想数値と同水準となる一方、米国セグメントにおいて前述の主要品目への競合他社の参入等の影響で前回発表の予想数値を下回り、全体で前回発表予想数値と比較して約26億円の減少となる見込みです。

営業利益、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益は、前述のとおり、負ののれんの発生益約87億円が生じる一方、のれんをはじめとした米国セグメントの資産の減損損失約690億円を計上するため、前回発表予想を大きく下回る見込みです。

なお、コア営業利益(参考)は、売上収益同様日本セグメントにおいてはほぼ前回発表の予想数値と同水準となる一方、米国セグメントにおいては前回発表の予想数値を下回り、全体で前回発表予想数値と比較して約46億円の減少となる見込みです。

4. 配当予想について

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけており、毎期の連結業績、配当性向、その他の株主還元策等を総合的に勘案しながら、安定的かつ継続的な配当を行うことを利益配分の基本方針としております。したがって、1株当たりの期末配当の額は65円を予想しており、当初予想から変更はございません。

5. 役員報酬の減額について

2022年3月期連結業績予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、以下のとおり役員報酬の減額を実施いたします。

(1) 2021年度の取締役全員の賞与の全額返上

(2) 2022年度の報酬月額減額

<減額の内容>

代表取締役会長：報酬月額の12分の6

代表取締役副会長：報酬月額の12分の3

代表取締役社長：報酬月額の12分の1

<対象期間>

2022年7月から2023年6月までの1年間

以上